山田小学校だより

―第15号―

文責　小野

2月20日

寒気も少しずつ緩みはじめましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。先日の2月16日の山田小学校閉校記念式典におきましては、準備から当日の係の仕事等、ご協力いただき本当にありがとうございました。おかげさまで、本年度の一番大きな行事を終えることができました。

記念碑の除幕式からスタートしました。

校長あいさつ

本校は、明治7年創立の144年の歴史と伝統があり、地域とともに歩んできた学校です。

また、地域の特色を生かし、保護者、地域、学校が一体となって、「小倉（おくら）の虎舞」「稲作」「土曜授業」「放課後子ども教室」等の活動を行ってきました。また、文武両道、学習面でも運動面でも素晴らしい成果を上げてきました。特に、ソフトボール、サッカー、バスケット、水泳、相撲等はその時々の子どもたちが熱心に取り組み優秀な成績を残してきました。

これまで4052名の卒業生を輩出し、その卒業生の皆様は山田魂を発揮され、地元阿蘇、熊本県、そして全国においてご活躍中のことと聞いています。このように、山田小学校は輝かしい歴史と伝統のある素晴らしい学校です。ただ、児童数の減少に歯止めがかからず、伸ばしていくためには、「閉校、内牧小学校との先行統合」の苦渋の選択を余儀なくされました。

皆様にとって、母校として、また、地域の学校として伝統ある学び舎には、語り尽くせない思い出があり、閉校の寂しさは察するに余りあります。

閉校で全てが終わりではありません。子ども達は、すぐに新しい学校（内牧小学校）に通うことになります。多くの友だちと過ごす新しい学校が夢と希望に満ちていなくてはなりません。閉校するのは残念でなりませんが、子ども達一人一人が、山田小学校での思い出を胸に、夢に向かって、力強く歩んでいくことを願っています。

最後にこれまで山田小学校を支えていただきました、歴代の校長先生始め教職員の皆様、卒業生の皆様、保護者、地域の皆様、そして閉校実行委員並びに関係各位に対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げ、閉校にあたっての式辞といたします。

（校長式辞より）

出席された方は、432名でした。児童発表「ありがとう山田小学校」最後のふるさとの合唱、4名の様々な年代の方の山田小学校の思い出を語るトークコーナー、小倉虎舞保存会の方の力強い虎舞等、どれも印象深いものでした。